

畜産いしかわ

LIVESTOCK INDUSTRY OF ISHIKAWA

地活39号 発行人：石川県 平成14年3月29日発行

石川県
畜産課

BSE 関連事業について

家畜個体識別システム 緊急整備事業

昨年9月、わが国で初めて牛海綿状脳症(BSE)が発生しました。その際には、国の後手後手にまわった対応策や危機管理体制の不備などに対して、消費者(国民)の牛肉消費に対する不安が増大し、食生活は基より、畜産業、食品産業に様々な影響が生じ、畜産物の安全性に関する消費者の関心はますます高まっています。

このような状況において、消費者の不安を解消し、畜産業への影響を最小限に食い止め

るには、疾病等の発生に際し、即時・的確な対応が取れるよう、全ての牛について生年月日や移動歴等を瞬時に正確に把握出来るシステムを構築し、早急に良質な畜産物と共に消費者に安心を届ける体制を確保していくことが必要です。

このため、「家畜個体識別システム緊急整備事業」において、日本全国の全ての牛に10桁の個体番号(番号の付いた名札のようなもの)を装着し、生年月日、性別、品種、出生地、移動歴、死亡年月日を把握することとしております。

これにより、全ての牛の移動歴の把握、迅



目次

CONTENTS

BSE 関連事業について	1
トウモロコシの品種選定試験	3
豚の複合感染症について	4
金沢近郊河北潟で 夢のある農業をしませんか!	5
おいしい牛肉、召し上がれ! フードピアランド能登牛試食&販売	6
BSEに係る研修会等の開催	7



石川県
畜産会は

石川県及び中央畜産会との連絡協議と、会員各位の理解と協力のもとに、国際競争力を念頭においた経営改善指導と情報提供等に努めています。

そして生産性と収益性が高く足腰の強い畜産経営の育成にお手伝いします。

速な家畜防疫体制の確立、安心・安全な畜産物の供給を図っていくことを目的としています。結果として、この個体識別番号は全国統一のものとなるので、消費者への安全な畜産物の供給ばかりでなく、生産者における血統情報、泌乳能力、枝肉情報等の各情報を農場にフィードバックさせることにより、自農場の乳用牛、肉用牛の改良に役立てることが出来るようになります。

廃用牛流通緊急推進事業

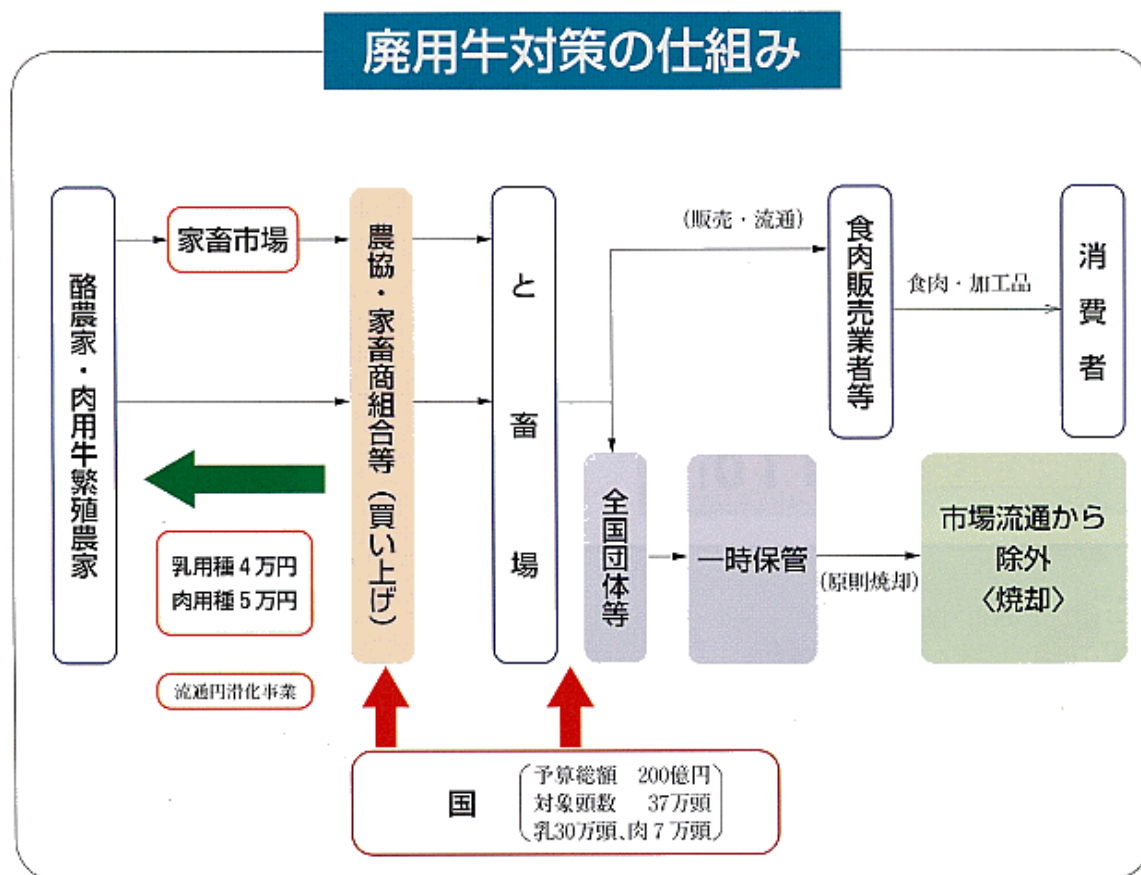
牛海綿状脳症（BSE）の発生に伴い、牛肉の需要低迷が続く中、廃用牛について食肉利用を目的とした流通が停滞している状況にあります。畜産経営にとっては、廃用牛販売収益の減収やコストの増加を招くだけでなく、牛群の適正な更新の妨げとなっており、廃用牛の牛肉について、流通の不可能な数量を完全に市場から排除することが不可避となっています。

このため、廃用牛を計画的にと畜場へ出荷

するとともに、廃用牛の買上げの推進、需要量を超過する牛肉の適正な処分の推進等を図るための事業に対し、農畜産業振興事業団が助成し、もって酪農・肉用牛生産の健全化と国産牛肉の需給の安定を図ることを目的としています。

〈事業の内容〉

- (1) 一時集約管理施設確保事業
廃用牛の一時的な集約管理に必要な施設の改修費及び飼料費への助成
- (2) 計画出荷処理販売促進事業
廃用牛のと畜場への効率的な出荷を実施するためのと畜場への輸送及び販路拡大のために必要な原料保管等に要する経費への助成
- (3) 廃用牛買上推進・牛肉需要安定化事業
農協等による廃用牛の買上げの推進と畜場の円滑な受け入れ、全国連等による牛肉の需給安定のための廃用牛牛肉の一時保管及び焼却等を実施するのに要する経費への助成。



トウモロコシの 品種選定試験

① はじめに

毎年、飼料作物の新たな品種が市場に多く出回っており、酪農家の方が種子の選択に戸惑いを感じていると思います。特にトウモロコシはその典型でサイクルも早いです。

当センターでは本県の気候風土に適合するトウモロコシの品種選定を行うため、市販の品種を用い、生育特性及び収量性等を調査しております。今回は平成13年度の成績について紹介します。

② 供試品種

早生品種名	早晚性	相対熟度*1 (DM)	栽培検討年 数*2	中生品種名	早晚性	相対熟度*1 (DM)	栽培検討年 数*2
NS68A★	早中生	115日	—	DK789★	中生	125日	—
KD670	早中生	117日	1年目	KD777	中晩生	127日	1年目
セシリア	早中生	115日	1年目	スノーデント125Z	中生	125日	1年目
ナスホマレ	早中生	115日	2年目	32K61	中生	122日	2年目
36B08	早生	106日	1年目	ゆめそだち	中生	125日	2年目

★：奨励品種 *1：相対熟度は種苗会社の表示 *2：栽培検討年数は品種選定試験を行った年数

③ 成績の概要

本年度は天候に恵まれたため、生育期間は短く、概ね生育が良好でした。早生種の中で有望な品種と考えられたのは36B08でした。稈長は他品種より低いですが、乾物収量、TDN収量は高い数値を示しました。また、栽培2年目のナスホマレも収量成績は高かったが、倒伏性に問題が見られました。

中生種では奨励品種のDK789より成績が良好な品種は見あたりませんが、スノーデント125Zは奨励品種に次いで乾物収量、TDN収量が高く、生育も良好でした。国産のゆめそだちは乾物中の雌穂割合が高く、乾物収量、TDN収量も高かったが、発芽、初期生育がやや劣り、生育初期の栽培管理に注意が必要です。

表1. 生育調査

系 統 名	発芽期 (月・日)	発芽 良否	初期 生育	抽雄期 (月・日)	抽糸期 (月・日)	稈長 (cm)	鞘穂穂高 (cm)	かん径 (mm)
NS68A★	5/11	1	1	7/10	7/10	223	103	23.5
早 生 種								
KD670	5/12	1	1	7/14	7/16	224	119	24.9
セシリア	5/11	1	1	7/12	7/12	212	108	23.6
ナスホマレ	5/11	1	1	7/8	7/9	229	101	25.8
36B08	5/11	1	1	7/8	7/6	193	96	24.3
中 生 種								
DK789★	5/12	1	1	7/13	7/14	225	116	26.8
KD777	5/12	1	1	7/14	7/14	232	115	28.5
スノーデント125Z	5/11	1	1	7/13	7/14	225	110	26.3
32K61	5/13	1	1	7/13	7/14	212	94	25.5
ゆめそだち	5/13	2	2	7/14	7/15	215	101	27.6

注) ★：奨励品種 発芽良否及び初期生育は1良～5不良

表 2. 収量調査

系 統 名	調査日 (月・日)	生育期間 (日)	収穫時 熟 度	生草収量 (kg/10a)			乾物収量 (kg/10a)			乾物離穂 重割合 (%)	乾物率 (%)	TDN 収量 (kg/10a)*
				茎葉	離穂	総重量	茎葉	離穂	総重量			
NS68A★	8/8	105	黄熟中	3,600	2,100	5,700	1,020	1,070	2,090	51.2	36.7	1,500
早 KD670	8/8	105	黄熟前	4,880	1,730	6,610	1,120	760	1,880	40.4	28.4	1,300
生 セシリア	8/8	105	黄熟中	4,110	2,000	6,110	1,030	920	1,950	47.2	32.2	1,380
種 ナスホマレ	8/8	105	黄熟前	4,690	2,080	6,770	1,180	1,070	2,250	47.6	33.8	1,600
36B08	8/8	105	黄熟中	4,090	2,000	6,090	1,120	1,100	2,220	49.5	36.0	1,580
DK789★	8/20	117	黄熟中	5,210	2,310	7,520	1,270	1,290	2,560	50.4	34.3	1,840
中 KD777	8/20	117	黄熟中	5,380	1,760	7,140	1,310	990	2,300	43.0	32.8	1,610
生 スノーデント125Z	8/20	117	黄熟中	5,310	2,140	7,450	1,280	1,230	2,510	49.0	33.4	1,790
種 32K61	8/20	117	黄熟後	3,410	1,980	5,390	920	1,180	2,100	56.2	38.2	1,540
ゆめそだち	8/20	117	黄熟中	3,870	2,440	6,310	990	1,350	2,340	57.7	36.2	1,720

注) ★：奨励品種 *TDN 収量：新得畜試方式により算出

北部家畜
保健
衛生所

豚の複合感染症について

防疫課
山本 美加

はじめに

PRRS (豚繁殖・呼吸障害症候群) ウイルス、豚サーコウイルスは最近になって注目されるようになったウイルスです。PRRS ウイルスは PRDC (豚呼吸器複合感染症)、豚サーコウイルス 2 型は PMWS (離乳後多臓器発育不良症候群) の原因と言われており、ともに離乳～肥育初期の子豚の損耗に大きく関わっています。これらウイルスに共通する特徴はウイルス感染だけでは病気にはならないものの、他の病原体の複合感染により症状を増悪させるものです。残念ながら県内の多くの農場がすでにこれらウイルスの侵入を受けていますが、被害を最小限にとどめるには下記の項目を参考にしてください。

1. 主な臨床症状

1) PRRS

好発日齢は40～80日齢で、沈鬱・食用不振・発熱・削瘦・腹式呼吸などがみられます。発病した子豚は死亡するか、ヒネ豚になります。

2) 豚サーコウイルス 2 型

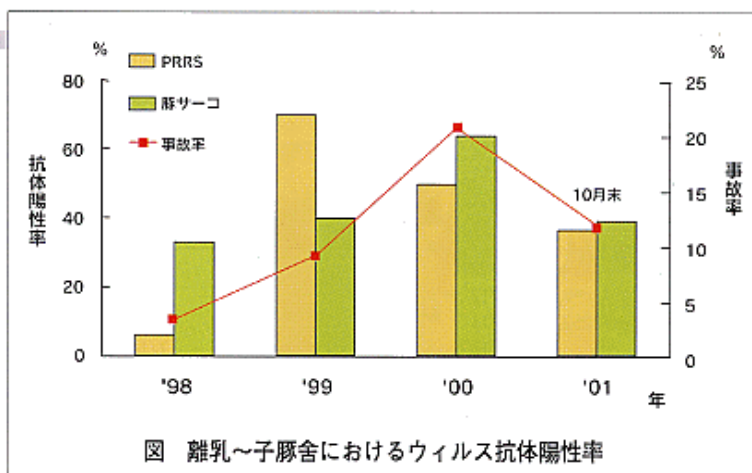
好発日齢は30～90日齢で、発育不良・呼吸困難 (腹式呼吸)・顔呼吸・黄疸・下痢・体表リンパ節の腫大などがみられます。

発病豚の死亡率は80%以上です。

このように、2つのウイルスの症状は似通っていて、区別は困難です。また、両方のウイルスが同時に感染していることもあります。

2. 感染レベルを下げよう

離乳～子豚舎におけるウイルス抗体陽性率と事故率の農場事例をグラフに示しました (図)。98年と00年を比べてみると、抗体陽性率の上昇にともない事故率も増加しています。このように豚群の感染レベルは被害の大きさに関係するため、感染レベルを下げる (上げない) 必要があります。また、感染レベルが母豚群・子豚群ともに低いケースでは臨床的な異常は認められない場合が多いですが、母豚群・子豚群ともに高いケース、子豚群のみ



高いケースでは影響は深刻となります。

感染経路には垂直感染（母から子へ）と、水平感染（離乳子豚同士）があります。非感染母豚から生まれた子豚や初乳摂取不足など移行抗体の少ない子豚は容易に感染を受け、新たな感染源となります。偽症豚は早期発見により摘発・隔離・淘汰して下さい。繁殖豚や育成豚で感染が確認されたものに対しても（ほとんどの場合難しいと思いますが）淘汰するのが望ましいです。すぐにできる対策として、一般的な衛生管理の徹底が奨励されます。快適な環境作り・適正な消毒はウイルスの蔓延防止だけではなく、2次感染防止にもつながります。また、汚染農場からの導入はできるだけ避けたほうが無難です。

3. ワクチン・抗生剤の利用

PRRS に対しては生ワクチンが市販されています。しかし県内ではワクチンを使用している農家はなく、ワクチンの安全性が確認されていないことから、お勧めはしていません。PRRS・豚サーコウイルスで複合感染により

病勢悪化につながる可能性の高いものとして一番にあげられるマイコプラズマをまずワクチンで予防することが必要です。また抗生剤の使用は、これら免疫抑制ウイルスの侵入が確認された場合、子豚の発病を抑えるために用います。

4. 早期発見・正確な診断

同様の症状で死亡するケースが目立つ場合には被害が大きくなる前にぜひ家畜保健衛生所で病性鑑定を受けて下さい。ウイルスは同じでも複合感染する病原体は様々です。また、最終的に死に至らしめている併発病は農場個々で特徴的なものである事がほとんどです。ウイルス関与の確認もさることながら、病原体を突き止めることで、より効果的なワクチンや抗生剤を選択することができます。どうぞお気軽にご相談ください。

北部家畜保健衛生所

0767-68-3636

南部家畜保健衛生所

076-257-1262

社石川県
農業
開発公社

金沢近郊河北潟干拓地で 夢のある農業をしませんか！

社石川県農業開発公社は、農地の売買や貸借等の
農地保有合理化事業を実施しています。

MY FARM

- 河北潟干拓地には、約850haの畑地があります。ここでは農家の方が、スイカ、レンコン、キャベツ、ダイコンなどの露地野菜や、メロン、花などの施設園芸と果樹に取り組んでいます。
- 農業開発公社では、公社保有畑地を、農業に意欲のある方に売渡しを行っています。また、畑地の買取りを前提として、一時貸付もしています。

畑の買取り（借受け）ができる方は

- 野菜、果樹や花きなどの栽培に意欲と情熱がある方。
- 一筆単位で60a以上を取得（借受け）する必要があります。
- 年齢が20歳から59歳までの方、60歳以上の方については、農業後継者がいなければなりません。
- 県外在住の方は、移住を条件にご相談に応じます。
- 新規就農者の方は、栽培技術や経営管理の基礎知識が必要です。先進農家あるいは

県の試験研究機関等での研修制度があります。

畑地の売渡価格は

(平成14年2月現在10a当たり)

現在必要なもの	今後必要なもの		合計
	平成22年まで	平成23年から平成32年まで	
約98万円	毎年約5万円	毎年約1万円	約150万円
公社へ支払	干拓土地改良区へ支払い		

- 国が農地造成し、県がその後、畑に整備した費用が土地代となります。
- その他、維持管理費、運営費等として土地改良区に毎年10a当たり約1万円を支払う必要があります。

売渡対象面積は

(平成14年2月現在10a当たり)

所在地	金沢市	津幡町	宇ノ気町	内灘町	合計
普通畑	5ha	65ha	46ha	87ha	203ha

その他

- 貸付料は10a当たり1年間8,000円です。
- 畑の標準区画は1筆60aです。

◎お問い合わせは次のところへお申し出下さい。

社石川県農業開発公社

〒920-0968 石川県金沢市幸町12-1

☎076-222-1676

全
石川
畜産
畜産
産略農課

おいしい牛肉、召し上がれ！ フードピアランドで 能登牛試食&販売

石川の冬を代表する食の祭典“フードピア金沢”のメインイベントである、『フードピアランド』が2月9、10、11日の3日間、金沢市の県中央公園で開催されました。

今年のフードピアランドには本会畜産部からも能登牛の試食販売コーナーを出店し、昨年9月のBSE（牛海綿状脳症）発生以来依然として牛肉の消費低迷が続く中で、牛肉の安全性のPRを兼ねて地元能登牛を来場者に振る舞いました。

炭火の網に能登牛が焼かれると周辺には芳ばしい香りが漂い、会場は長蛇の列ができるほどの人で賑わいました。販売された能登牛は珠洲産の高級和牛で、3日間の開催期間中に販売予定であった500パック（500g）は早々に完売となりました。また、コーナーには消費者に牛肉の安全性を再認識してもらおうとパネルが設けられ、安心・安全な県産牛肉を

PRしました。

能登牛を味わった来場者は「大変美味しい。これからは安心して牛肉を買いたい。」と満足げに話していました。本会関係者は「少しでも牛肉の消費回復に繋がってほしい。」と、今回のイベントの成果を願っていました。



BSEに係る研修会等の開催

昨年9月に我が国で初めて牛海綿状脳症（BSE）が発生し、生産者を始め畜産関係者や消費者を巻き込んで大変な騒ぎになりました。

その後、家畜個体識別システム緊急整備事業によって、全国全ての牛に対して10桁の番号を装着して、安心・安全な畜産物の提供を

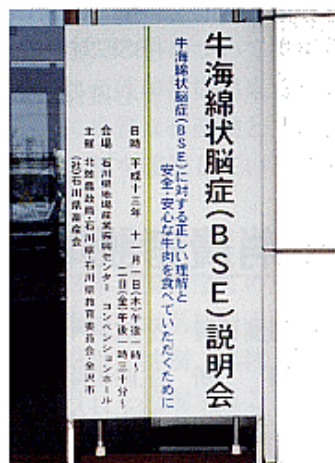
図ることになりました。

また、廃用牛の流通を円滑に推進するため、廃用牛流通緊急推進事業によって計画的な屠畜が可能になりました。

そして、ソフト面ではBSEの不安感を解消することを目的に、いろいろと説明会等が開催されましたのでその一部を紹介します。

研修会

- ①開催日時 平成13年10月30日(火)
- ②場 所 石川県地場産業振興センター
- ③主 催 (社)石川県畜産会、石川県
- ④演 題 牛海綿状脳症（BSE）の現状と問題点
- ⑤講 師 国際獣疫事務局（OIE）アジア太平洋地域事務所
特別顧問 小澤義博
- ⑥内 容 牛海綿状脳症（BSE）の歴史的背景や症状等の初歩的な問題から、BSEの発生状況と対策、診断方法や今後の問題まで幅広い説明により、BSE関連知識の普及啓蒙を図った。



シンポジウム

- ①開催日時 平成14年3月2日(土)
- ②場 所 石川県地場産業振興センター
- ③主 催 (社)石川県獣医師会
- ④基調講演 「感染症論からみた日本のBSE」
- ⑤講 師 東京大学大学院 教授 吉川泰弘
- ⑥内 容 「安全、安心な牛肉の提供について」をテーマに、吉川先生を含め6人のパネラーとコーディネーターによるパネルディスカッションにより、BSE関連知識の普及啓蒙を図った。



集 会

- ①開催日時 平成14年3月9日(土)
- ②場 所 石川県農業会館
- ③主 催 石川県農業協同組合中央会
全国農業協同組合連合会石川県本部
㈱石川県畜産会
石川県酪農業協同組合連合会
- ④情勢報告 「BSE をめぐる情勢」
「BSE 検査の現状」
- ⑤講 師 北陸農政局 局長 谷萩真一
金沢市食肉検査所 所長 吉村清人
- ⑥内 容 BSE 問題による厳しい現状を打破するため、生産者と農業団体等が一同に会して、「BSE 対策の充実・強化に関する要請」文と「本県畜産・酪農の危機突破と安全・安心確保に関する」決議を採択した。



消費者説明会

- ①開催日時 平成14年3月20日(水)
- ②場 所 生産現場、食肉センター、
食肉検査所、食肉カット工場
- ③主 催 ㈱石川県畜産会
- ④対 象 者 一般消費者50人
- ⑤内 容 消費者キャラバン隊を編成して、
生産段階～食肉カット工場までの
一連の行程見学と、BSE 関連知識の普及啓蒙により、食肉に対する信頼と消費量の回復を図った。



編集後記

39号の記事は、ほとんどがBSE関連になってしまいましたが、畜産生産者は勿論のこと消費者の皆さんにとっても大変重要な問題であり、最近では、尾ひれがついて食肉の表示問題が取り沙汰されております。

畜産業界全体にとって大変な時期でありますので、全員が気を引き締めて頑張ることが、最も重要なことではないでしょうか。(T)

畜産いしかわ 地活39号

編集●社団法人 石川県畜産会

金沢市才田町戊324-2

TEL.076-258-2252 FAX.076-257-8019

URL <http://cali.lin.go.jp/ishikawa>

E-mail fiku-17@mailhost.mitani.co.jp

印刷●能登印刷株式会社

(この指導誌は県委託の地域畜産活性化推進事業によって刊行されているものである。)